

心通い合う医療をめざすコミュニケーション冊子

八幡中央病院／京都八幡病院／学研都市病院／百万遍クリニック／真鍋整形外科医院  
介護老人保健施設石清水／訪問看護ステーション梨の里／八幡市乳幼児健康支援ディサービスたんぽぽ  
精華町病後児保育事業病後児保育室ひまわり／特別養護老人ホームゆりのき

今年の夏も暑そうです。  
冷房にあたりすぎず、衣服で調整、  
栄養をとるように心掛けてください。



# 石清水



2010年  
Vol.30

石清水

いわしみず

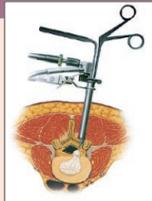
2010  
vol.30

iwashimizu / 2010年 編集・印刷 / (株)シーリング  
2010年7月1日発行 発行所 京都府八幡市八幡中央病院1丁目9-14 郵務本部105F  
〒614-8054 八幡市八幡中央病院 医聖会  
〒614-8054 八幡市八幡中央病院 医聖会  
TEL 075-982-0999 FAX 075-982-0998

学研都市病院・八幡中央病院

内視鏡視下腰椎椎間板ヘルニア摘出術 (MED法) を導入

この度、学研都市病院並びに八幡中央病院整形外科では、内視鏡視下でヘルニアの患部を確認しながら処置を施す内視鏡視下腰椎椎間板ヘルニア摘出術 (MED法) を導入しました。このMED法は、腰椎椎間板ヘルニアの手術方法として、近年急速に広まりつつあり、当院でもこの方法を導入し、より質の高い医療を提供することが可能になりました。



MED法のメリットとして、①傷が小さい(小規模な切開)、②入院期間の短縮、③早期に社会(スポーツ・仕事等)への復帰が可能という点が挙げられます。

今後も、医師をはじめとする各職員が、知識と技術の研鑽に努め、患者様にとってより良い医療を提供できるよう取り組んでまいります。



医聖会理念

患者さまと病院職員は、心の通い合う医療を通じて、お互いの信頼のもとで、ともに手をたずさえて病気の克服に努めます。

基本方針

- 私たちは安全管理および、患者さまのプライバシー保護に最大の努力を払い、患者さまが安心と満足の得られる質の高い医療を提供します。
- 私たちは患者さまの意見・立場を大切に、説明と理解、同意に基づいた信頼される医療を提供します。
- 私たちは地域の人々および、医療機関との緊密な連携を図り、より良い医療を提供します。
- 私たちは常に知識と技術の研鑽に努め、高い倫理観を持ち、互いの人格を尊重し、チーム医療の向上と働きがいのある職場づくりを志向します。

医療法人社団 医聖会

八幡中央病院 新MRI(1.5T)を導入

この度、八幡中央病院では、新たにGE製MRI、Signa HDe Second Editionを導入しました。このMRIは、日本の医療現場での要望を満たすように開発されており、高画質・省エネルギー(エコ)など、これまで両立が難しかった機能を実現しています。また、パラレルイメージング、最新コンピュータなどの搭載により、高速撮像を実現、患者様に優しい静音機能なども搭載しています。実際、以前稼動していたPhilips社製0.5TMRIに比較すると、どの部位でも短時間・高画質に撮像できるようになりました。今回導入したSigna HDe Second Editionは、北京オリンピックの際に、選手村にも設置されたMRIです。そのため、脊椎・四肢領域などの整形領域などを高画質に撮像できることはもちろん、DWI検査を含む頭部撮像、体幹部・下肢領域などの非造影MRA撮像にも非常に優れています。また、患者寝台が本体から着脱可能な機構が採用されている為、1.5Tの高磁場環境でも、安全な検査を行うことができます。当院のMRIは、患者様の負担を軽減しながら、最大限の画質を得る為の工夫がされています。



救急救命処置により職員の表彰が行われました

去る5月上旬に、八幡中央病院消化器外科部長宮田圭悟医師並びに同病院看護師横山文男主任に対し、表彰が行われました。平成22年4月24日(土)京都ホテルオークラにて医聖会新人歓迎会を開催中、同階別会場にて同窓会に参加されていた男性が、午後8時30分過ぎにトイレにて心肺停止となり転倒された際に、両名は、救急隊が到着するまでの間、心臓マッサージや人工呼吸などを施し、救命に貢献されました。今回の表彰は、両名の取った行動が、医療従事者としての高い自覚と責任感に基づくもので、病院職員として模範的な行動であったことが称えられたものです。



表彰状を受け取る宮田医師(左写真)と横山主任(右写真)

医師紹介

● 経歴  
平成13年 3月 山口大学医学部 卒業  
平成13年 4月 市立四日市病院勤務  
平成21年11月 より現職

よろしくお願ひします。



八幡中央病院 整形外科 村田 巨樹  
外来担当日 火・木曜日 ※くわしくは別紙の担当医表をご確認ください。

● 経歴  
平成11年3月 京都大学医学部 卒業  
平成11年4月 京都大学医学部附属病院整形外科  
平成12年6月 国立京都病院整形外科  
平成14年6月 長浜赤十字病院整形外科  
平成17年4月 京都大学大学院医学研究科 入学  
平成21年3月 京都大学大学院医学研究科 卒業  
平成21年4月 洛和会音羽病院整形外科  
平成22年4月 より現職

● 資格  
平成18年 日本整形外科学会 専門医  
平成21年 京都大学 医学博士  
平成22年 日本整形外科学会脊椎脊髄病認定医

学研都市病院 整形外科・リハビリテーション科 医長 木村 浩明  
外来担当日 火・土曜日 ※くわしくは別紙の担当医表をご確認ください。



医療法人社団 医聖会  
医聖会ホームページ: www.iseikai.jp

八幡中央病院  
〒614-8071 京都府八幡市八幡五反田39-1  
TEL 075-983-0119(代) FAX 075-983-0310

京都八幡病院  
人工透析センター、健診センター  
〒614-8114 京都府八幡市川口別所61  
TEL 075-971-2001(代) FAX 075-983-0185

学研都市病院  
人工透析センター、健診センター、  
脊椎・脊髄センター  
〒619-0238 京都府相楽郡精華町精華台7丁目4-1  
TEL 0774-98-2123(代) FAX 0774-98-2101

百万遍クリニック  
〒608-8225 京都府京都市左京区田中門前町103-5  
京都/ストゥール研究所ビル1F  
TEL 075-791-8202 FAX 075-705-0025

真鍋整形外科医院  
〒573-1115 大阪府枚方市東船橋2-149-7  
TEL 072-867-5551 FAX 072-867-5531

介護老人保健施設 石清水  
〒614-8114 京都府八幡市川口別所66  
TEL 075-972-2111(代) FAX 075-971-2003

訪問看護ステーション 梨の里  
〒614-8111 京都府八幡市川口小西9-7  
TEL 075-982-6205 FAX 075-982-6205

八幡市乳幼児健康支援センター たんぽぽ  
〒614-8111 京都府八幡市川口小西9-7 小西側内  
TEL 075-981-7006 FAX 075-981-7006

精華町病後児保育事業 病後児保育室 ひまわり  
〒619-0225 京都府木津川市木津川台1丁目19番1  
TEL 0774-75-1132 FAX 0774-75-1134

社会福祉法人 京都山城福祉会 特別養護老人ホーム ゆりのき



各施設とも大山崎IC、八幡東ICより約10分



季刊誌 石清水 / もくじ

- 学研都市病院・八幡中央病院 内視鏡視下腰椎椎間板ヘルニア摘出術 (MED法) を導入
- 消化器内科・外科 座談会
- 八幡中央病院の「消化器科」がパワーアップしました!
- スタッフボイス

- 医聖会トピックス
- 百万遍クリニック レトロネクチン®誘導Tリンパ球療法を開始
- 石清水トピックス
- 「ゆりのき」で普通救命講習 I を開催
- 八幡中央病院 新MRI(1.5T)を導入
- 救急救命処置により職員の表彰が行われました
- 栄養教室・糖尿病教室好評開催中です
- 医師紹介

消化器内科 座談会

早期発見で、おなかを切らずに治療もできる時代

食事の欧米化など、生活習慣の変化により増加の途をたどる大腸がんですが、内視鏡機器の進歩とその取扱い技術の向上により、今や、おなかを切らずに根治も可能に。ヘリコバクター・ピロリ菌の除菌療法や慢性肝炎の抗ウイルス療法でも成果を上げています。杉野院長と3人の新任医師が語り合います。

消化器内科の概要・方針は？

杉野院長 口からお尻まで、食べ物が通り消化吸収される管(食道・胃・小腸・大腸)や食べ物の消化吸収代謝に関与する肝臓、膵臓、胆のうなどの多岐にわたる臓器の異常の有無を診る診療科で、がんをはじめ、たくさんの病気の治療を行います。私が若い頃はバリウム検査などで異常が見つかり摘出が必要となれば、外科にお願いして「開腹手術」となっていたわけですが、近年は内視鏡機器の開発やその取扱い技術が著しく進歩し、消化器がんなどの早期発見はもとより、内視鏡を用いた「おなかを切らない」治療も大きく前進しました。当院は、急性期病院として特に整形外科を中心とした地域医療に力を注いで参りましたが、消化器がんの増加という時代的背景などから、消化器病が専門の内科医師の増員を図りました。それぞれの専門性を活かしながら、地域の皆さま方の消化器疾患の予防と診療に寄与したいと張り切っております。

では、新任の先生方の研究テーマや抱負をお聞かせください

岸本医師 私は消化管全般、中でも食道の「胸焼け」を研究しています。胸焼けは胃酸が逆流して食道粘膜を傷つけることにより起こりますが最近、食道の知覚過敏によって起こるケースが多いことがわかってきました。たかが胸焼けと我慢せず、ぜひ受診していただきたいですね。内視鏡検査は口から挿入する上部消化管内視鏡(食道胃十二指腸)と、肛門から挿入する下部消化管内視鏡(大腸)があります。とくに女性の腸がんが増えていますから、恥ずかしがらずに検査を受けてもらえるように努め、消化器がんの早期発見を目指したいと思っております。

の研究を行っています。この病院では、内視鏡による検査、診断に力を入れていますが、検査をお勧めした方の5人に1人くらいしか、実際に大腸内視鏡検査を受けてもらえないのが残念。いまの内視鏡のファイバーは改良され、以前に比べればそんなに苦しくないのですが…。

福居医師 私も大学院生です。私が消化器内科に進んだのは、内視鏡による検査や手術の進歩により、早期がんが治せるようになったこと、抗がん剤治療により、進行がんの患者さんにも深く関われる点にやりがいを感じたからです。大学院では、アシリンによる小腸粘膜の傷害について研究しています。

消化管内視鏡による検査・治療とは？

杉野院長 最新の消化管内視鏡では、解像度の高いハイビジョン映像などが得られ、種々の機能を駆使することで微小な異常の質的診断も可能になりました。その結果、多くのポリープのみならず、早期がんのかんりの割合が内視鏡治療で根治できるようになっております。また、症例によりですが、消化管出血や消化管穿孔なども内視鏡的治療の対象となります。

岸本医師 私たちの場合、まだ検査が中心で、治療は大腸ポリープの切除などですが、がんの治療にも早く取り組みたいです。福居医師 そのためには、看護師さん、技師さんを含めたチーム医療の態勢づくりが進むように、若輩者ですが、がんばりたいと思っております。

八幡中央病院の「消化器科」がパワーアップしました！

八幡中央病院消化器科は大腸がんなどの消化器がんの増加にともない、今年4月、医師を増員し、内視鏡検査や腹腔鏡下手術に本格的に取り組みすることになりました。新任の医師が内科、外科別に座談会を開き、熱い思いを語り合いました。



高齢者にも負担の少ない「腹腔鏡下手術」を実践

消化器外科 座談会

消化器外科は、奈良名譽院長のもと、4月に宮田圭悟部長・大澤るみ医師を迎え、常勤医師3人体制にパワーアップ。同時に最新の「腹腔鏡下手術システム」を導入し、従来は胆のう切除手術のみだった腹腔鏡下手術を、大腸がんにも適用し、成果を上げています。2人の新任医師にうかがいました。

専門分野や着任の抱負からお聞かせください

宮田部長 昭和62年に京都府立医科大学を卒業後、外科医として勤めて23年。消化器外科の中でも肝臓が専門で、原発性の肝細胞がんや大腸がんからの転移性肝がんの予防などについて、研究治療を行ってまいりました。その経験を生かして八幡中央病院では、いま大腸がんや早期胃がんの一般的な手術法となつて「腹腔鏡下手術」を定着させたいと考えています。当院の患者さまは地元の高齢者の方が多いんです。だからこそ住み慣れた地元で、誰もが最高の手術を受けられる環境を整えることが、私どもの使命と思っています。

大澤医師 私は平成12年に京都府立医大を卒業し、今年で外科医になって11年になります。消化器外科に所属していますが、まだまだ広く全般的なことを学びたいと考えています。宮田先生の腹腔鏡下手術が大腸がん手術に参加し、大いに刺激を受けているところです。

腹腔鏡下手術とは、どんな手術ですか

宮田部長 おなかに5〜12mmの孔を数カ所開け、カメラや手術器具を入れて手術します。メリットは非常に傷が小さいこと、胃や腸が動くままにして手術ができること、無影灯の強い光に内臓がさらされないことなどで、手術後の胃腸運動の回復が早く、食事の開始も早い。入院期間も開腹手術では3週間から1ヵ月



5mm径フレキシブルビデオスコープ オリンパス LTF TYPE VP



オリンパス腹腔鏡システム

大澤先生の女性医師としての存在も大きいのでは 大澤医師 脱腸や直腸がん、痔の疑いがある女性が、はるばる遠方から来院されることも少なくありません。恥ずかしい気持ちから受診が遅れてしまうのは残念なことです。女性外科医の存在の重要性を、改め

指腸潰瘍の最大の原因と目され、胃がんのリスク要因でもあるとされます。ヘリコバクター・ピロリ菌の検査も行い、陽性の方には除菌療法も行っております。B型肝炎やC型肝炎ウイルス感染症の抗ウイルス療法のご相談もお受けしております。いずれにしましても、「おなかの調子がすぐれない」ときは、早めの消化器内科受診をお勧めします。

消化器内科座談会参加医師プロフィール

八幡中央病院 院長 消化器内科 杉野 成 医師 昭和44年 京都府立医科大学医学部 卒業 平成21年4月より現職 医学博士 日本内科学会認定医・日本肝臓学会専門医 日本消化器病学会専門医・日本医師会認定産業医

八幡中央病院 消化器内科 岸本 悦子 医師 平成12年 福井医科大学医学部 卒業 平成22年3月 京都府立医科大学大学院 修了 平成22年4月 入職 日本内科学会認定医

八幡中央病院 消化器内科 春里 暁人 医師 平成14年 京都府立医科大学医学部 卒業 平成19年4月 京都府立医科大学大学院医学研究科 入学 平成22年4月 入職 日本内科学会認定医 日本消化器病学会専門医

八幡中央病院 消化器内科 福居 顕文 医師 平成15年 関西医科大学医学部 卒業 平成21年4月 京都府立医科大学大学院医学研究科 入学 平成22年4月 入職

て痛感しています。乳がんの検診も私が担当していますので、ご遠慮なく、受診してください！

部長としての今後の目標をお聞かせください

宮田部長 八幡中央病院は整形外科の背骨の手術で有名ですが、整形外科のスタッフは難しい手術を、チームで何度も繰り返し、マニュアル化し、日本一の手術にまで高めました。消化器外科も、大学病院とは違って少ないスタッフですが、経験豊富なプロ集団として質の高い手術を繰り返し、マニュアル化し、この地域の方々に選ばれる、最高の手術に高めたいと考えています。消化器科では、内科・外科ともにご相談もお受けしておりますので、どうぞ、気軽にご来院ください。

消化器外科座談会参加医師プロフィール

八幡中央病院 消化器外科 部長 宮田 圭悟 医師 昭和62年 京都府立医科大学 卒業 平成22年4月 入職 日本外科学会指導医・日本消化器外科学会指導医 日本消化器病学会専門医

八幡中央病院 消化器外科 大澤 るみ 医師 平成12年 京都府立医科大学 卒業 平成22年3月 京都府立医科大学大学院 卒業 平成22年4月 入職 日本外科学会専門医

石清水トピックス

「ゆりのき」で普通救命講習Iを開催

特別養護老人ホーム「ゆりのき」では、5月15日に職員を対象に普通救命講習Iが開催されました。当日は 相楽中部消防組合の救急隊の方3名が、ゆりのき1階の地域交流室にて22名の職員に3時間に及んで講義と実技指導をしてくださいました。実際に人形を使っての体験や、命の大切さやそれを救おうと頑張っておられる救急隊の方に直接お話を聞いたのは大変貴重な経験になったと思います。今回受講したことにより、命の尊さを学ぶと共に万が一目の前に倒れた人と遭遇した時に自分にもその命を救える手段を学ぶことが出来ました。この講習を期に、得た知識と技術を日頃の業務に活かし、また、公私共に行動に移す勇気が持てました。



① 医聖会トピックス

百万遍クリニック レトロネクチン®誘導リンパ球療法を開始

京都府立医科大学消化器内科、タカラバイオ株式会社との共同で行ったレトロネクチン®誘導リンパ球療法の臨床研究が終了し、その安全性を確認したことを受け、百万遍クリニックで、本治療法を本年5月より開始しました。それに先立つ5月7日(金)、宝ホールディングス株式会社にて記者会見を行い、坂元院長が出席されました。本治療法は、リンパ球の拡大培養時に、タカラバイオ株式会社が開発したレトロネクチン®という物質を加えて増殖させると、その増殖した細胞中に「ナイーブT細胞」が多く含まれるため、体内への移入後、効率よくがん近傍のリンパ節へ集まり、がん細胞を攻撃するための能力を獲得すると見込まれます。これにより、これまでのがん免疫細胞療法と比較して、より高い治療効果が期待されます。 お問い合わせは 百万遍クリニック TEL.075-791-8202



Staff voice 医聖会で働くスタッフの声を届けます。

voice. 1 患者様の「ありがとう」を支えに、力になれる、頼りになれる看護師へ。



京都八幡病院 3病棟 看護師 東谷 麻紀

平成21年4月に入職してから約1年が経ち、現在は京都八幡病院3病棟で、入院患者様への看護業務に携わっています。日々忙しい業務の中で、患者様に「ありがとう」と声を掛けていただける瞬間が非常に嬉しく、この仕事のやりがいを感じます。この1年間で一番印象に残っているのは、意思疎通が上手く出来なかった患者様に名前を覚えてもらったことです。今後は、忙しさの中にも充実した毎日を過ごし、患者様の病気に対する知識を更に深め、患者様の力になれる、頼りにされる看護師に成長できるように日々頑張りたいと思います。

voice. 2 手術室でも病棟でも、患者様に満足していただける看護を目指して。



学研都市病院 手術室/中央材料室 看護師 佐々木 智晶

本年の4月に学研都市病院に入職し、看護師として第一歩を踏み出しました。現在は手術室に勤務しており、毎日3〜4件実施される手術の準備や介助、そして患者様の看護に一生懸命取り組み、あっという間に一日が過ぎます。これまで一番印象に残ったことは、仕事を始めてすぐの頃、病棟で患者様に声を掛けられて顔を覚えて下さっていたことです。患者様への看護は手術室だけでなく、術前説明等チームとしての看護が大切であると強く思いました。そして、手術後の患者様が元気になられ、病棟で歩いておられる姿を見るととても嬉しく思い、セカンドキャリアとしてこの仕事について良かったと思われ疲れも吹っ飛びます。将来の目標は、日々の出会いを大切に、患者様に満足していただける看護を提供出来るように努力していきたいと考えています。